

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

岐阜県 地域ワークショップ 報告書

2019（平成31）年2月6日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」岐阜県ワークショップが開催されました。当日は、岐阜県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方8名（小学校3名、中学校4名、特別支援学校1名）及び推進校ではない学校の先生方3名と市町の教育委員会の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成31）年2月6日（水）13時30分～16時40分

会場：OKB ふれあい会館 7B 研修室

主催：岐阜県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：13名

プログラム：

13:00～13:10 開会の挨拶

岐阜県教育委員会 体育健康課 教育主管 中川 浩美 氏

13:10～13:20 岐阜県のオリンピック・パラリンピック教育の取り組み

岐阜県教育委員会 体育健康課 学校体育係 課長補佐 中島 昌敏 氏

13:10～14:10 オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践報告①

岐南町立北小学校、海津市立大江小学校、郡上市立明宝小学校

14:10～14:25 休憩

14:25～16:00 オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践報告②

岐阜本巣特別支援学校、八百津町立八百津中学校

土岐市立泉中学校、高山市立中山中学校

16:00～16:20 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

16:20～16:30 諸連絡

岐阜県教育委員会 体育健康課 学校体育係 課長補佐 中島 昌敏 氏

開会行事では、岐阜県教育委員会事務局体育健康課の中川浩美氏より挨拶がありました。東京に比べてなかなかオリンピック・パラリンピックの雰囲気を感じることが難しい環境で、この事業を通して、少しでも子どもたちが身近にオリンピック・パラリンピックを感じてもらいたい、とお話いただきました。

続いて、岐阜県教育委員会事務局の中島昌敏氏より、岐阜県のオリンピック・パラリンピック教育の推進方法についてお話がありました。また、中島氏の発表の中で、岐阜県教育委員会事務局が県内の小・中学校の児童・生徒を対象に独自に行ったアンケート調査結果に関する報告がありました。そこでは、「オリ・パラ教育未実施校が行ってみたい取組」としてスポーツの意義や価値に関する学習が上位にあったり、「オリンピック・パラリ

ンピックの内容・歴史を知りたい」と回答した小学生が多く確認されたりしており、岐阜県の子どもたちのオリ・パラ教育に対する関心の高さを知ることができました。



中川 浩美 氏



中島 昌敏 氏

続いて、推進校の先生方から、実践報告が行われました。それぞれの学校からは、年間の既存の取り組みとオリ・パラ教育を組み合わせる様々な独自の取り組みが報告されました。オリンピック・パラリンピアンによる講演や実技指導はもちろんのこと、体力向上プログラムとの連携（北小学校）、「I'mPOSSIBLE」を活用した授業や運動会との連携（大江小学校）、ホストタウンとの連携（明宝小学校）、ゴールボール体験（岐阜本巣特別支援学校）、人権教育との連携（八百津中学校）、全校で行う朝学習との連携（泉中学校）、修学旅行との連携（中山中学校）等が行われました。また、本センターで作成したパラリンピック教育用デジタル教材「夢に向かって」を活用した実践も報告いただきました。



推進校の先生方による発表

推進校の先生による実践報告の後に、本センターの深見英一郎副センター長と岡田悠佑研究員より、本事業の概要や他地域のオリ・パラ教育の実践事例等に関する講義が行われました。



深見 英一郎 副センター長



岡田 悠佑 研究員